

## 長根連区 市長と地域との懇談会

日 時：令和6年5月27日（月）

午後7時から午後9時まで

場 所：長根ふれあいセンター連

参加者：29名

### 【内 容】

#### 市からの報告 テーマ：ごみの減量について

- 令和5年9月から有料化をスタートし、従来のごみ袋の料金は据え置きのまま、ごみの処理費用を賄っている。
- プラスチックごみ、ミックスペーパーの分別も進んできているが、まだ十分とは言えないので、引き続き分別にはご協力をいただきたい。
- 従来のように分別されないままだと晴丘センター焼却場への負荷が大きかった。
- 燃えるごみを減らすことで最終処分場や焼却炉の延命にもなるのでぜひ協力をいただきたい。
- 分別は進んでいるが、ごみ全体の総量では前年から3%程の減少と大きく減っていない。
- 燃えるごみの中で一番多いのは調理くず、食べ残し、手付かずにそのまま捨ててしまう食料品であり、市としてフードロスを少なくしていきたい。

#### 地域の課題①：住民が抱えるごみ問題について

##### （ごみの削減について）

- 家庭ごみだけでなく、事業者から出される産業廃棄物（太陽光パネル等）の削減も必要だと思う。
- スーパーの食品パックの量が多いため、各家庭での削減だけでなく、事業者への簡易包装を働きかけてはどうか。

##### （ごみの分別について）

- 分別が個々の判断で行われており、実際には難しい面がある。
- ペットボトルを洗わないまま捨てる人がいる。

##### （ごみの回収について）

- プラゴミの回収が月2回では少ない。また、回収場所も限られている。
- プラゴミの回収が月5週の場合は間隔が長く空くときがある。
- 可燃ごみを旧袋のまま出す人がいて、回収されないまま残っていることがある。

##### （ごみの回収場所について）

- ごみの収集所にネットがなく、風で飛んでいくことがある。

- 資源ごみの集積所が少なく、遠くまで持っていくのが大変な時がある。可燃ごみの収集場所を活用するなど、地域に選定させてはどうか。
  - ごみの収集場所に側溝があると、蓋がされていないため、側溝に落ちている場合がある。
- (その他)
- ふれあい収集の利用者で、旧袋のままごみを出している人がいる。
  - 旧袋に比べ、新しい袋の強度が弱いように感じる。

#### 地域の課題②：その他

##### (公共交通・コミュニティバスについて)

- 城ヶ根町の辺りはコミュニティバスが通っておらず、公共交通の空白地帯となっている。乗り合いバスやチョイソコ(豊明市)などを参考に民間企業と実験的にできないか。
- やすらぎ会館から図書館までのコースがあるのがありがたいが、利用者が少なく、路線がなくならないか心配している。
- コミュニティバスの利用者や運行本数・日時に差がある。利便性が向上すれば利用者は増えるのではないか。
- デマンド型の公共交通だと利用しやすいのではないか。

##### (ふれあいセンター連について)

- 連の借用期限が今年度で終了予定だか、継続して利用させてほしい。修繕も地域で行っているが、継続の可否によって修繕計画が変わってくる。
- 連がなくなってしまうと子育てサロンや子どもたちの遊ぶ場がなくなってしまう、地域のコミュニティ力が弱くなる。
- 長根公民館を広場とし、連と一体的に整備し、施設を建設してほしい。

##### (地域図書館について)

- 長根に地域図書館がない。学校の図書室が難しい場合は、公民館を活用してはどうか。

##### (水無瀬川について)

- 草刈りをしてもらっているが、川に土砂がたまっているように思う。
- 桜が枯れていて倒れそうな木がある。

##### (その他)

- 菱野団地小中一貫校、中水野地区再開発など、その地区だけでなく市民全体の問題に関しては、市全体での懇談会を開催してほしい。